

長浜市産業文化交流拠点整備事業計画（案）にかかるパブリックコメントの実施結果について

- ◆意見募集期間 平成２８年１月２２日（金）から平成２８年２月２０日（土）まで
- ◆提出された意見 ６人 １８件
- ◆意見要旨と意見に対する市の考え方

No	該当頁	意見の要旨	意見等に対する市の考え
1	1-2	第１節 事業計画策定の趣旨、２導入機能、（１）中央図書館機能に「市内小・中学校学校図書館への資料貸出支援」というような文章を入れていただきたいと思います。 または「将来学校図書館とのネットワーク構築を目指し・・・」というような動きも希望します。	ご意見の部分は、平成27年3月策定の長浜市役所本庁舎跡地等利活用基本構想の内容を記載していますので原文通りとします。 ご意見につきましては、市立図書館全体の役割として「長浜市子ども読書活動推進計画（第2次）（平成26年3月策定）」（以下、「子ども読書活動推進計画（第2次）」という）や「長浜市図書館基本計画（平成27年3月策定）」（以下、「図書館基本計画」という）に基づき、これまでどおり学校への支援を進めてまいります。
2	3-2 3-6	施設利用者が、お茶を飲みながら、談笑できるようなスペースがあると思います。長浜市の作業所で働くしょうがい者の方による食品や作品の販売コーナーにするのはどうでしょうか。	本事業計画（案）では、休憩・喫茶コーナーや憩いの場の設置を予定しています（第3節交流推進計画P3-2、P3-6公民館・市民活躍スペース）。これらのスペースの管理運営方法については、ご意見も参考にさせていただきます、今後検討してまいります。
3	3-3	駐車場の利用台数は、250台以上との記載ですが、敷地A、Bそれぞれに何台の予定なのか明確にすべきではないでしょうか。 大型バスが敷地A内に計画されており、敷地Aからの歩行動線をどう取るのかを明確にし、八幡宮など中心市街地への歩行動線を確保することも必要と考えます。	第4節施設計画（４）「敷地に対する施設配置パターン」（P4-13）において、駐車場の台数は、敷地Aで125台、敷地Bで125台との想定をお示しています。また、配置パターン毎に中心市街地への動線を想定し評価しています。 駐車場や敷地内の動線については、設計段階で特に重視すべき配置計画方針に掲げ、今後の設計において決定していきます。
4	3-3	公用車の駐車率50%の根拠は。	開館時間内の公用車等の駐車率は、現状のヒアリングや他の施設の公用車の利用状況から50%と想定したものです。
5	3-3	駐輪場の計画および台数予測を明確にする必要があるのではないですか。	駐輪場の規模については、今後の設計段階において整理していきます。
6	3-3 4-11	第３節 交流推進計画、（７）駐車場に計画台数の算出計算があります。同じく第４節 施設計画、（２）駐車場の整備方針にも建設コストの比較に触れています。さまざまな機能があるなかで、来場者の滞留時間の掌握は難しいと考えますが、運用開始後、いつも駐車場が満杯で入れないことがないように検討する必要があると考えます。駐車場に関しては、利用者側の多様な使い方の検討が、より必要に感じます。	駐車場の管理運営については、第5節実施計画P5-11に記載しており、計画台数を確保し、適正な管理運営を行うため、ゲート式等の入退場管理が可能な設備の設置を検討することとしてます。ご指摘のとおり、多様な利用状況が想定されるため、利用方法について、開館までに市民や利用者と意見を交えながら検討していきます。
7	4-1 4-2 4-3 4-4	A敷地東側のさくらの木はできるだけ保存してほしいですが、古木の為に更新木を育てることも大切ではないでしょうか。	旧市役所前庭の桜については、第4節施設計画の「特に重視すべき配置計画方針」（P4-3）に記載しています。施設整備にあたり、専門家の見解や今回のご意見等をふまえながら、市民の皆様に親しまれてきた桜の景観の維持に努めてまいります。
8	4-1 4-2 4-3 4-4	南田附神前線・日赤からの動線と安全確保、右折だまりの考えを計画に示すべきではありませんか。	ご意見の動線や安全確保については、第4節施設計画P4-1～P4-4「周辺環境の分析と基本構想の実現化」に含みます。今後、計画施設の利用者の安全性や周辺の道路環境の向上のため、敷地Aを活用した歩行空間の確保や、市道高田神照線の安全確保に取り組みます。右折だまりについては、市道南田附神前線や都市計画道路地福寺神照線の整備により、市街地へのアクセスの変化が見込まれることや、市道高田神照線のT字交差点の滞留状況から、必要性は低いと考えています。
9	4-1 4-2 4-3 4-4	敷地Bについては、駐車場法の視点、小学校等の出入口の観点から、本道路への出入りを計画されるのならB敷地の高さとし道の高さや排水路等、充分な子どもたちの安全等を確保し、整備すべきではないでしょうか。	敷地Bについては、第4節施設計画の「特に重視すべき配置計画方針」（P4-4）のなかで、「歩行者の安全に配慮した車両出入口」として記載しています。今後の設計において安全性や排水計画等に留意して計画してまいります。
10	4-3 4-4	観光バスの進入に対し、駅前道路にも右折だまりが必要ではありませんか。	駅前通りへの右折だまり設置については、大規模な改良が必要となるため想定していませんが、バス乗降所への乗入れは駅前通りからを想定してます（第4節施設計画P4-3、P4-4）ので、バス乗入れによる渋滞や安全面の対応としては、乗入れしやすい出入口の形状や乗入時の誘導員配置などを検討する必要があると考えています。
11	5-10	図書館は、書店とは違い、歴史的な資料を整えたり、大切な資料の収集管理をしてもらうところです。 また、図書館は、市民を育て支えていく役割があります。特に将来長浜市を担っていく子どもたちを育てるために読書推進にも力を注いでほしいと考えます。 そういう点からも図書館は、市が直接運営に関わってほしいと思います。文化的にも意識の高い長浜市が誇れ、市民に愛される図書館になるために、市が直接にしっかり図書館を運営していただきたいと思います。	ご意見のとおり、市民の知的活動を支えるための資料の収集や保存は、図書館の大きな役割であると認識しています。加えて子どもたちの読書推進は、子ども読書活動推進計画(第2次)に基づき、力を注いでいるところです。図書館の管理運営についても、図書館基本計画（P32）で本市の考えをお示していますのでご参照ください。
12	5-10	中央図書館の管理運営主体について、“当面は市直営により運営します”とありますが、いずれ民営化するというのでしょうか。 子どもを中心に図書館を考えると、子どもに対する知識があり、子どもの心を育てていこうという意欲のある方に図書館で勤務してほしいと考えます。子どもにとって地域で人と接する大切な場所の一つとしてあり続け、長浜市の未来を担う子どもたちを育てていく図書館を考えていただきますようよろしくお願いします。	中央図書館の管理運営については、図書館基本計画（P32）に基づき記載しています。ご意見のとおり、市民の皆様、とりわけ長浜市の未来を担う子どもたちにとって、図書館が地域における大切な場所であると認識しております。今後も教育機関として、より質の高いサービスを効果的に提供し、子どもの読書活動を支援できるよう、管理運営体制の改善を続けてまいります。

No	該当頁	意見の要旨	意見等に対する市の考え
13	5-10	図書館サービスは、子どもをふくめた市民への情報提供が主なものであると考えます。 書籍だけではなく、さまざまな情報を手渡すために、ノウハウが受け継がれるべきであるとも考えています。 図書館サービスは公的なサービスであり、関係諸団体との折衝の必要性もあることから、管理運営は長浜市以外に考えられません。 文章の中の「当面は」は削るべきではないでしょうか。 図書館サービスの管理運営は、長浜市で、と明記していただきたいものです。	本事業計画(案)の中央図書館機能部分については、図書館基本計画に基づき記載しています。今後5年間で計画の期間とした図書館基本計画では、管理運営主体について、資料・情報を市民に責任を持って確実に提供する市の教育機関として、図書館サービスの専門家(司書)を適正に配置し、教育行政を効果的に推進する図書館運営をめざすこととしています。 このめざす姿を将来にわたって実現していくために、人口分布や市民のニーズを見極めながら、より質の高いサービスを効果的に提供できるよう、管理運営体制の改善を続けてまいります。
14	6-1	第6節 まとめ、2今後の課題、○市民参加の推進で、パブリックコメントだけでなく、ワークショップ等にて広く市民の意見を把握とあります。一般市民が普通に使い易い長浜市産業文化交流拠点になるためには、駐車場設備の検討だけではなく、使用トラブルもある程度視野に入れた利用者側の目線に立った駐車場運用シミュレーションの検討(それら知見のある意見を取り入れる機会も含めて)が必要に思います。 こうした意識を当初から盛込むことで、より市民が使い易い駐車場を検討できるのではないかと考えます。	今後の駐車場の管理運営の検討において、ご意見を参考にさせていただき、より使い易い駐車場の整備に努めてまいります。
15		図書館のサテライト館は、館の広さ、蔵書数(開架と閉架)、職員数は、どうなりますか。	サテライト館の広さや蔵書数、職員数については、中央図書館の整備と並行して今後検討してまいります。
16		新しい図書館建設を機会にハード面だけでなくソフト面でもさらに、今まで以上に充実させてもらいたい。 蔵書の充実、図書館職員の充実、年間の予算についても、数値で示してもらいたいです。	ご意見の数値については記載しませんが、中央図書館の役割を十分に生かしながら、蔵書の充実や職員の資質向上に努めてまいります。年度ごとの予算については、市の予算書にお示ししています。
17		(中央図書館及びサテライト館について)子どもたちへの読書推進に関しては、低学年対象のおはなし会も再開していただきお話ボランティアの指導的役割を担ってもらいたい。	乳幼児から小学生へのおはなし会等について、ボランティアと連携をしながら、各館で取り組んでいるところです。今後も各館で取り組み、ボランティアを対象とした研修会等も継続して開催し、スキルアップの機会を提供いたします。
18		(中央図書館及びサテライト館について)学校などで活動しているボランティアに対しても養成研修を計り、読み聞かせのレベルアップを計ってもらいたいと考えます。	さまざまな方を対象とした読み聞かせに関する講習会・研修等は、今後も開催してまいります。